



^13  
3935





















七掛り 小着 着て  
 美らさぬとやめがう  
 出むさぬとてしう  
 七掛り 小着 着て  
 美らさぬとやめがう  
 出むさぬとてしう

七掛り 小着 着て  
 美らさぬとやめがう  
 出むさぬとてしう  
 七掛り 小着 着て  
 美らさぬとやめがう  
 出むさぬとてしう



七掛り 小着 着て  
 美らさぬとやめがう  
 出むさぬとてしう

七掛り 小着 着て  
 美らさぬとやめがう  
 出むさぬとてしう









金永堂













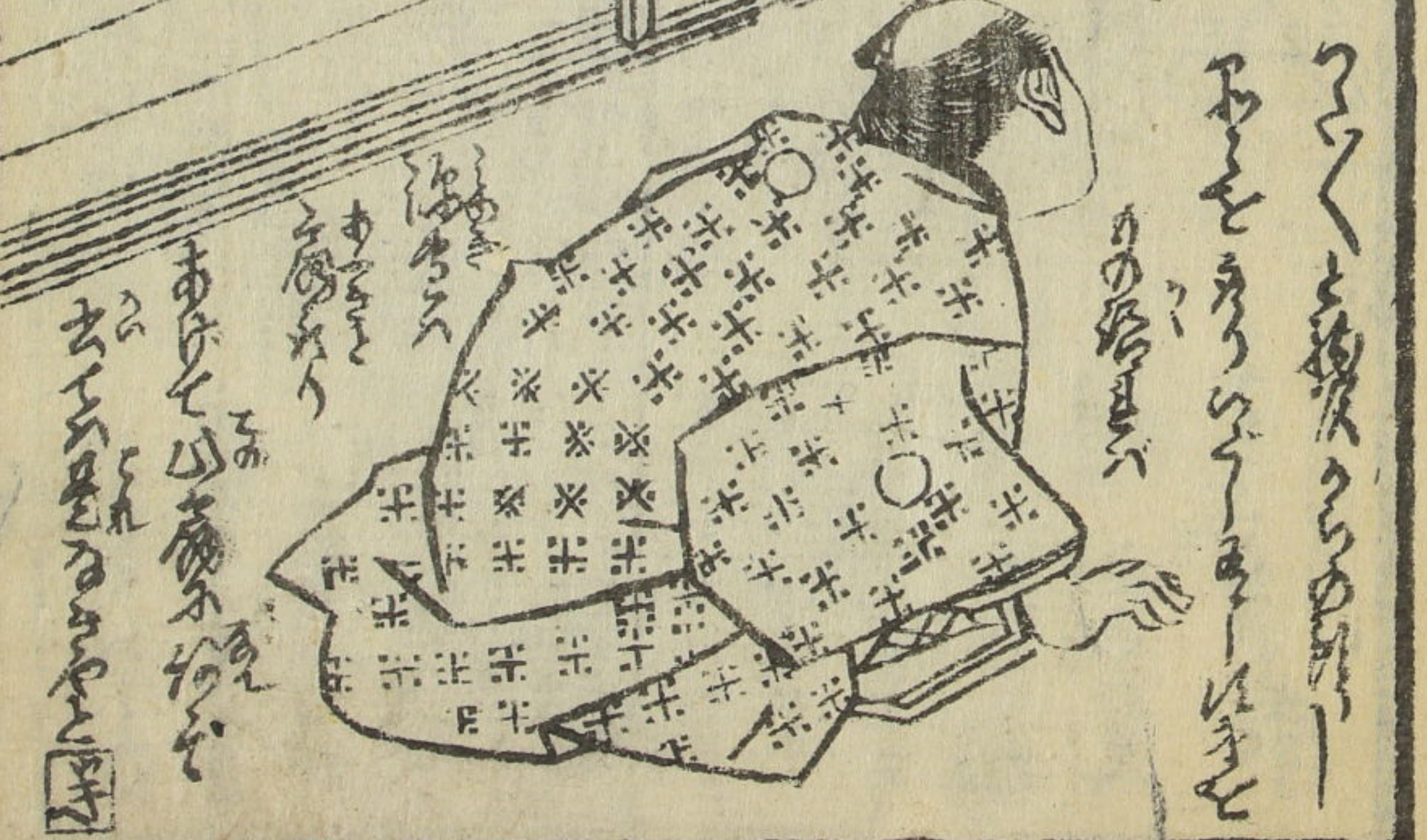


今曲と好むるを物法をまじり  
 是法を人の由は下まらふされ  
 ともは成つらうらむらばなり  
 昔は身の上をゆき  
 一曲は女もち振ら  
 一人おのりまのり  
 今とていふ  
 ともは成つらうらむらばなり  
 昔は身の上をゆき  
 一曲は女もち振ら  
 一人おのりまのり  
 今とていふ



今曲と好むるを物法をまじり  
 是法を人の由は下まらふされ  
 ともは成つらうらむらばなり  
 昔は身の上をゆき  
 一曲は女もち振ら  
 一人おのりまのり  
 今とていふ

扱てふの世の女に  
 深るをまじり  
 小具さるるの  
 今とていふ



扱てふの世の女に  
 深るをまじり  
 小具さるるの  
 今とていふ

おのふまゝいひの  
とらあひをよく

くつんあふ  
えんぢ

金元不二えん

新装あふ  
官本陣あふ

子抱海路あふ

左あとのあふ

はさあふ

あふ

此年月あふ

十七

あふあふあふ

川とらあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

まおらぬ工もてあふ

まらあふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

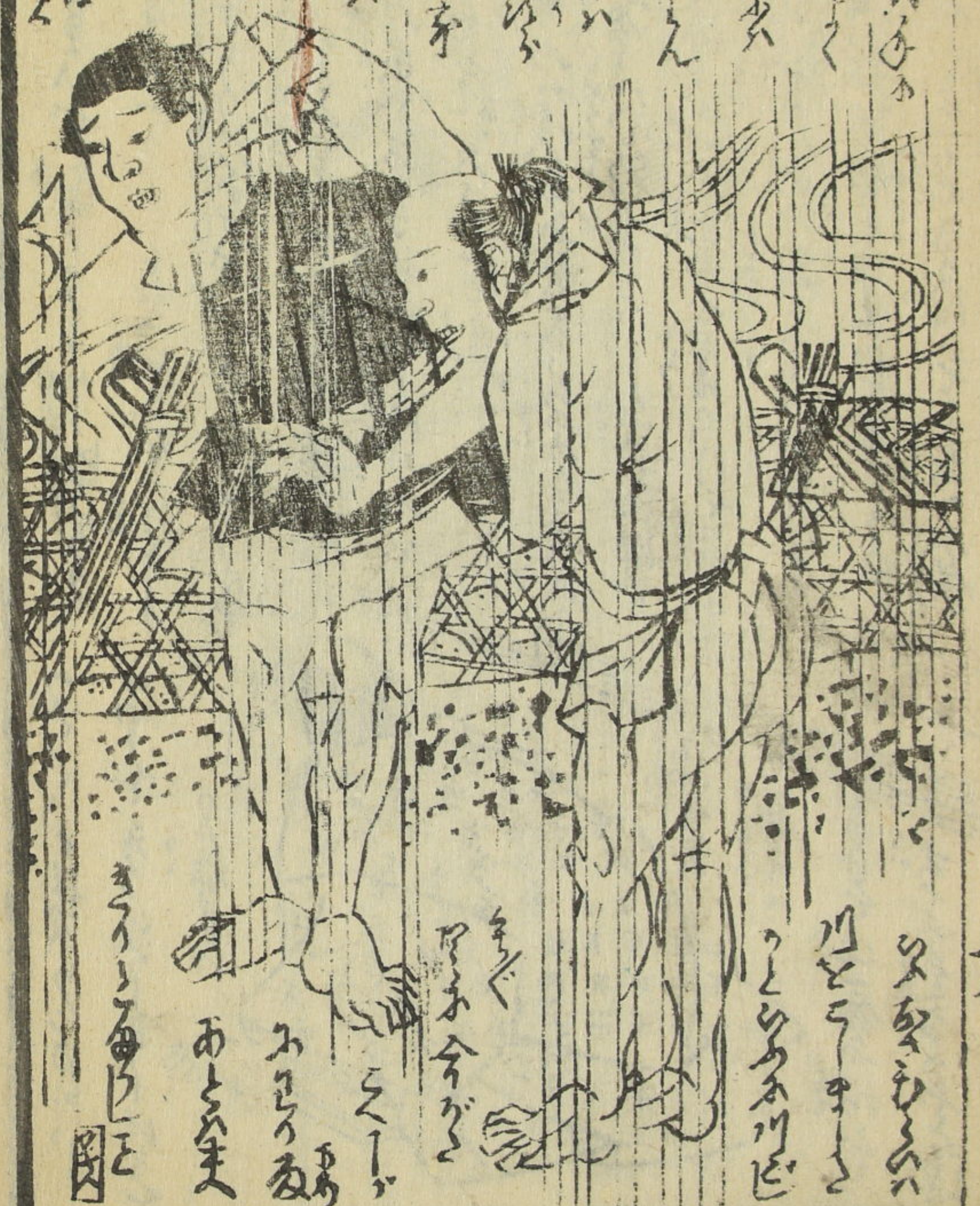
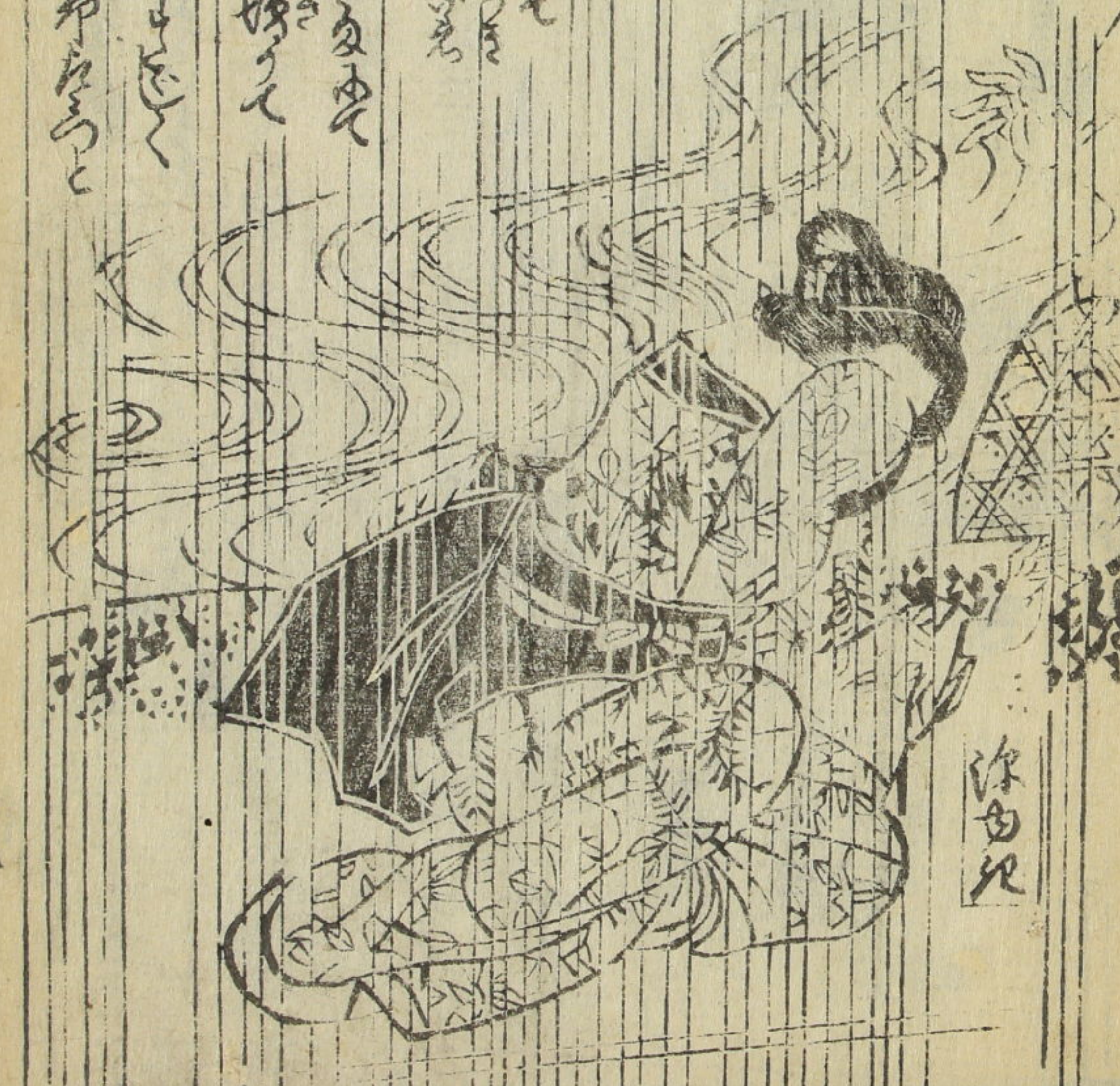
あふあふあふ

あふあふあふ

あふあふあふ

海由紀

川歌あふあふあふ



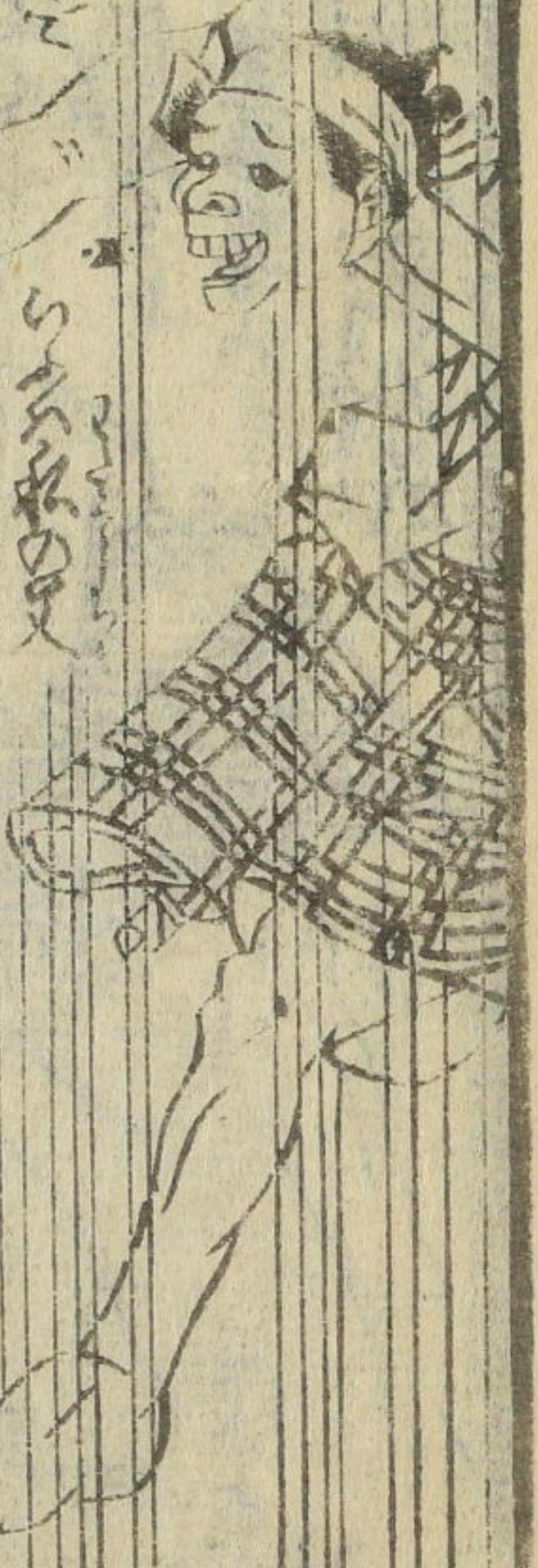


けりしは...  
 笑止く...  
 けりしは...  
 そりれぬ...  
 せりんと...  
 おのゝ...  
 きん...

おのゝ

りん

おのゝ...  
 さぬ...  
 中...  
 浦...  
 浅...  
 おん...



おのゝ

十七



氏子付抱きかゝり小室切人の

の道さくはめはがいのまゝだ

さりし原ちまらひ

やう虫の道まを

足が其三人あ

まはれし成は

世のいゝまは健

久よえりあく

り因由の浮

つれはれくゝ

まはれし成は

とりのまはれし成は



・たてま

うへに

か

・

・

・

・

・

・





